

教科目名 英読文化 (Cultures through English)

学科名・学年 : 全学科 5年 (教育プログラム 第2学年 ○科目)
単位数など : 選択 2単位 (前期1コマ, 後期1コマ, 学習保証時間 45 時間)
担当教員 : 大木正明

授業の概要			
4 年生までに学んだ総合的な英語力を基礎に、アメリカの文化について学ぶ。特に前期では世界の経済、文化活動の中心ともいえる東海岸、とりわけニューヨークについて徹底的に調査研究し、アメリカの経済的かつ文化的側面を理解する。後期では西海岸を学んでいくが、その中核となるのはロサンゼルスとサンフランシスコで、観光産業を中心としたアメリカのポップカルチャーやコンシューマリズム、あるいはアメリカの治安状況といった側面を学んでいく			
達成目標と評価方法		大分高専目標(C2), JABEE 目標(f)	
(1) これまでに学んだ英語に関する基礎力を再確認することができる。(レポート)			
(2) 授業項目に関連した諸現象について知見を深め、文化的かつ国際的感覚を身につけることができる。(レポート)			
(3) 授業に関連した単語や熟語を理解し、適切な日本語に解釈し直すことができる。(レポート)			
(4) 演習問題を通して理解を深めるとともに、継続的な学習ができるようにする。(レポート)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15	1 . New York (1) The Big Apple & Wall Street (2) Welcome to Broadway (3) Central Park (4) Welcome to Museum Mile	○ アメリカ東海岸の歴史と街全体の現在の状況、およびニューヨークを中心とするアメリカの経済について理解できる。 ニューヨークのブロードウェイ・ミュージカルを中心とする娯楽文化について学び、文化的な事象が及ぼす人々への影響、あるいは重要性を理解できる。 ニューヨーク、マンハッタンの中心に位置するセントラルパーク、およびその周辺で生活する人々について学び、その多様性について理解できる。 世界の芸術の宝庫であるニューヨークのメトロポリタン美術館を中心とする数箇所の美術館について学び、彫刻、絵画をはじめとする芸術作品について理解できる。	【理解の度合い】 【理解の度合い】 【理解の度合い】 【理解の度合い】
16 17 18 19 20 22 23 24 25 26 27 28 29 30	2 . Los Angeles & San Francisco (1) Welcome to Body Art (2) Welcome to the G.G.B. (3) Welcome to the Mall (4) Welcome to the Police Department	観光産業の発達したアメリカの西海岸、特にロサンゼルスとサンフランシスコに焦点を当て、アメリカの大衆文化を理解できる。 テキストに掲載されている 2 組の観光カプセルを通して数多くあるサンフランシスコの観光スポットを学ぶ。その際他の都市と比較し、観光(旅)の意味について理解できる。 アメリカに深く根ざしている消費主義について学ぶ。その際、公共のサービスや交通機関、あるいはショッピングをする際のシステム等についてもあわせて理解できる。 ロサンゼルスとサンフランシスコの治安状況を通してアメリカの治安状態、あるいは国家のあり方について理解できる。	【理解の度合い】 【理解の度合い】 【理解の度合い】 【理解の度合い】
履修上の注意		講義は英文解釈を中心に進行される。よって事前の予習は欠かさないこと。	【総合達成度】
教 科 書		Timothy Kiggell, <i>Wonderful USA</i> , 株式会社マクミランランゲージハウス。 大木正明, 『元気の出るニューヨーク映画講義』, 海鳥社。	【総合評価】
参 考 図 書			
関 連 科 目		応用英語, プロジェクト演習 II, 英読文化 I	
総 合 評 価		前期, 後期にそれぞれ 1 回ずつ課されるレポートによって総合的に評価する(50%+50%)。尚、各レポートには 10 項目の点検項目があり、それぞれ 10 点の配点がなされている。総合評価が 60 点以上を合格とする。	

